

## 利尻山の火山活動解説資料（平成 22 年 9 月）

札幌管区気象台  
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は見られません。  
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

- ・ 火口や噴気の状況（図 1～3）

13日に北海道開発局の協力を得て上空からの観測を実施しました。上空からの目視観測では噴気は確認されず、赤外熱映像装置<sup>1)</sup>による観測でも地熱域は認められませんでした。

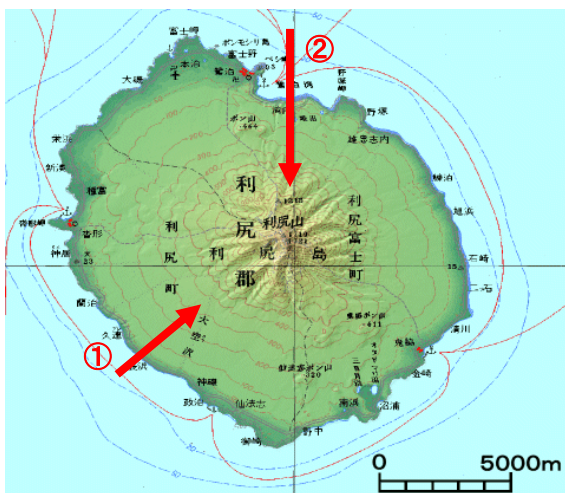


図 1 利尻山 周辺図  
(矢印は写真の撮影方向)

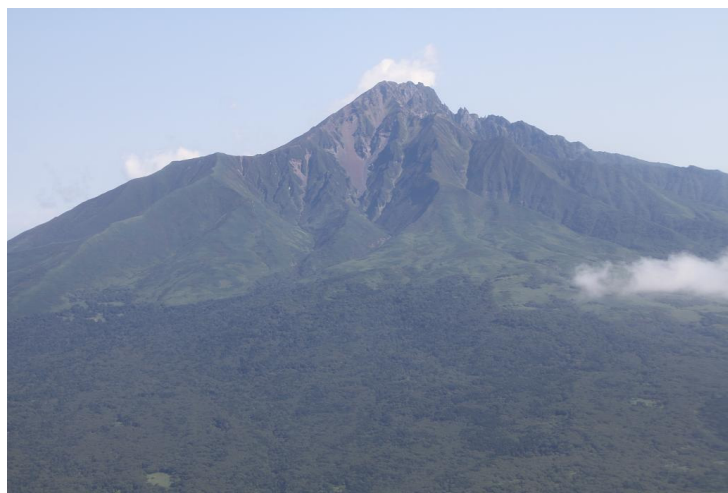


図 2 利尻山 南西側上空より見た利尻山の状況  
(9月13日 図1の①方向上空より撮影)

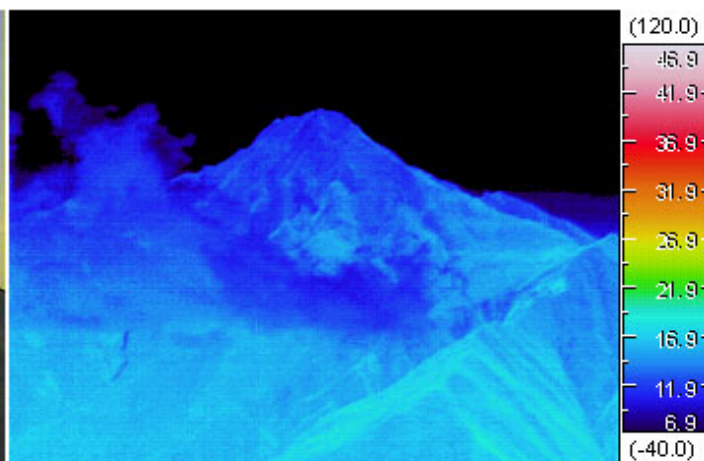


図 3 利尻山 赤外熱映像装置<sup>1)</sup>による山頂部の地表面温度分布  
(9月13日 図1の②方向上空より撮影)

1) 赤外放射温度計や赤外熱映像装置は、物体が放射する赤外線を感じて温度や温度分布を測定する計器です。熱源から離れた場所から測定できる利点がありますが、測定距離や大気等の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合があります。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 200000 (地図画像)』を使用しています。(承認番号 平 20 業使、第 385 号)。